

2015年3月期

第2四半期決算説明資料

(2014年4月1日 ▶ 2014年9月30日)

2014年 11月7日

リズム時計工業株式会社

証券コード: 7769

<http://www.rhythm.co.jp/>

本資料における将来予測は、本資料発表当日における入手可能な情報に基づき作成されたものであり、実際の業績は様々な要因により大幅に異なる可能性がありますことをご承知おき下さい。尚、金額は切捨で表記しています。

決算概況

(第2四半期連結累計期間)

(百万円)

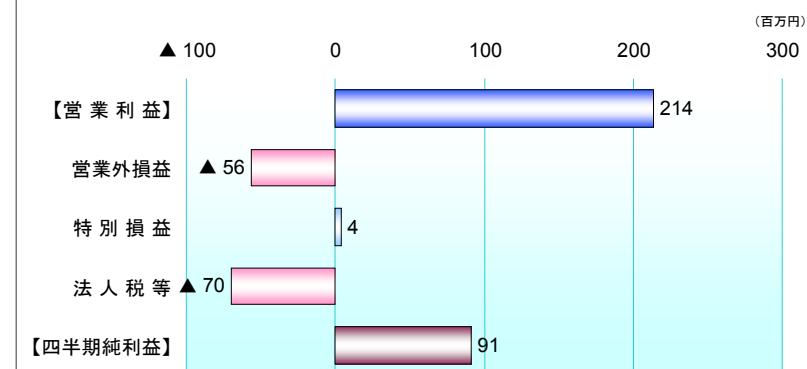
	2014年3月期(第2四半期)			2015年3月期(第2四半期)			累計比較	
	1Q	2Q	累計	1Q	2Q	累計	増減	伸び率
売上高	7,392	7,674	15,066	8,343	8,740	17,084	+2,017	+13.4%
営業利益 営業利益率	156 2.1%	53 0.7%	210 1.4%	262 3.1%	162 1.9%	424 2.5%	+214 +1.1%	+102.1%
経常利益 経常利益率	339 4.6%	138 1.8%	477 3.2%	394 4.7%	241 2.8%	635 3.7%	+158 +0.5%	+33.1%
四半期純利益 四半期純利益率	212 2.9%	83 1.1%	296 2.0%	246 3.0%	141 1.6%	388 2.3%	+91 +0.3%	+31.1%
1株当たり 四半期純利益(円)	1.84	0.72	2.56	2.13	1.23	3.36	+0.80	+31.1%
為替レート(US\$=¥) []は期末日レート	97 [98]	98 [97]	98 [97]	102 [101]	102 [109]	102 [109]	4 [12]	—

主な増減要因

(◇は益要因、◆は損要因)

	当期計上額	前期比増減額
【営業外損益】◆ 為替差益	2百万円	▲62百万円
【特別損益】◇ 固定資産売却損	0百万円	▲4百万円
【法人税等】◆ 税金費用	242百万円	70百万円

四半期純利益増減内訳



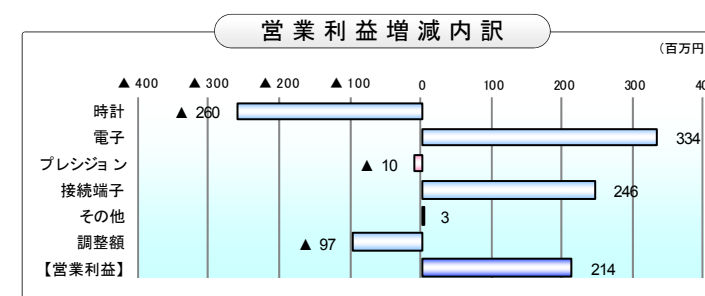
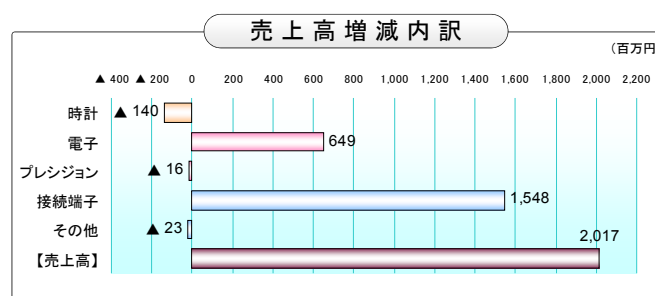
業績概況【セグメント別】

(第2四半期連結累計期間)

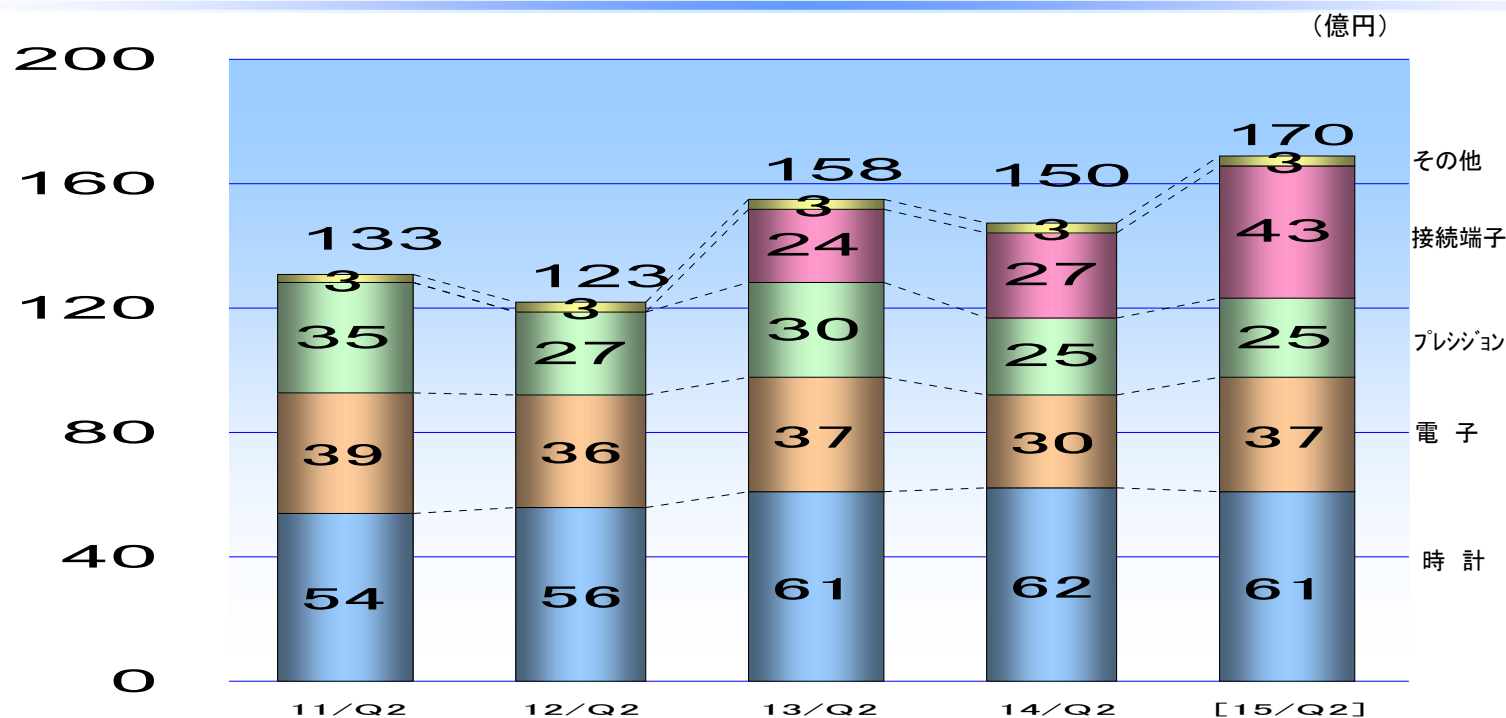
(百万円)

		2014年3月期(第2四半期)				2015年3月期(第2四半期)				累計比較	
		Q1	Q2	累計	構成比* 利益率	Q1	Q2	累計	構成比* 利益率	増減	伸び率
売上高	時計	3,097	3,180	6,278	41.7%	3,002	3,134	6,137	35.9%	▲ 140	▲ 2.2%
	電子	1,439	1,623	3,062	20.3%	1,810	1,900	3,711	21.7%	+649	+21.2%
	プレジジョン	1,274	1,281	2,556	17.0%	1,210	1,330	2,540	14.9%	▲ 16	▲ 0.6%
	接続端子	1,381	1,402	2,783	18.5%	2,139	2,192	4,332	25.4%	+1,548	+55.6%
	その他	199	186	386	2.6%	179	183	363	2.1%	▲ 23	▲ 6.0%
	合計	7,392	7,674	15,066	100%	8,343	8,740	17,084	100%	+2,017	+13.4%
営業利益	時計	150	138	289	4.6%	▲ 5	34	29	0.5%	▲ 260	▲ 89.9%
	電子	▲ 91	▲ 104	▲ 195	-	126	11	138	3.7%	+334	-
	プレジジョン	8	▲ 16	▲ 8	-	▲ 19	0	▲ 19	-	▲ 10	-
	接続端子	139	129	269	9.7%	272	243	515	11.9%	+246	+91.4%
	その他	15	11	27	7.1%	22	8	30	8.5%	+3	+12.2%
	調整額	▲ 66	▲ 105	▲ 171	-	▲ 133	▲ 135	▲ 269	-	▲ 97	-
合計	156	53	210	1.4%	262	162	424	2.5%	+214	+102.1%	

※ 構成比、利益率は、売上高に關しては売上構成比を、営業利益に關しては営業利益率を表しています。



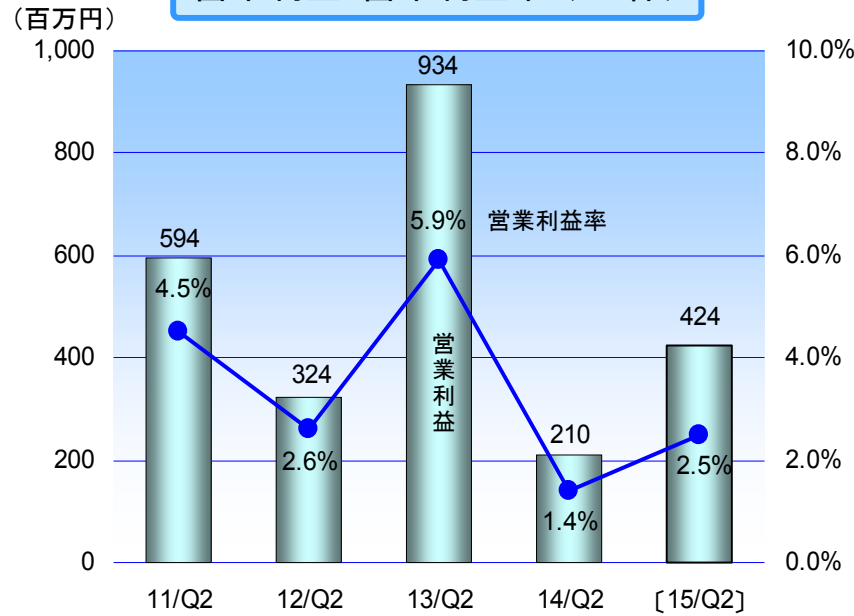
売上高推移【セグメント別】



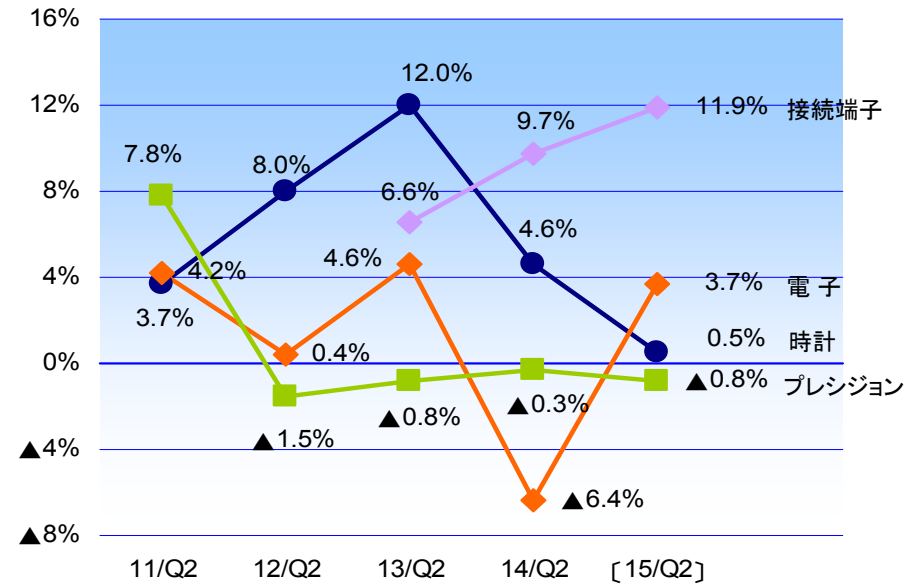
		11/Q2	12/Q2	13/Q2	14/Q2	15/Q2
売上高構成比	時計事業	41%	46%	39%	42%	36%
	電子事業	29%	29%	24%	20%	22%
	プレシジョン事業	27%	22%	20%	17%	15%
	接続端子事業	-	-	15%	19%	25%
	その他の事業	3%	3%	2%	2%	2%
	合計	100%	100%	100%	100%	100%

営業利益推移【セグメント別】

営業利益・営業利益率（全体）



営業利益率（セグメント別）

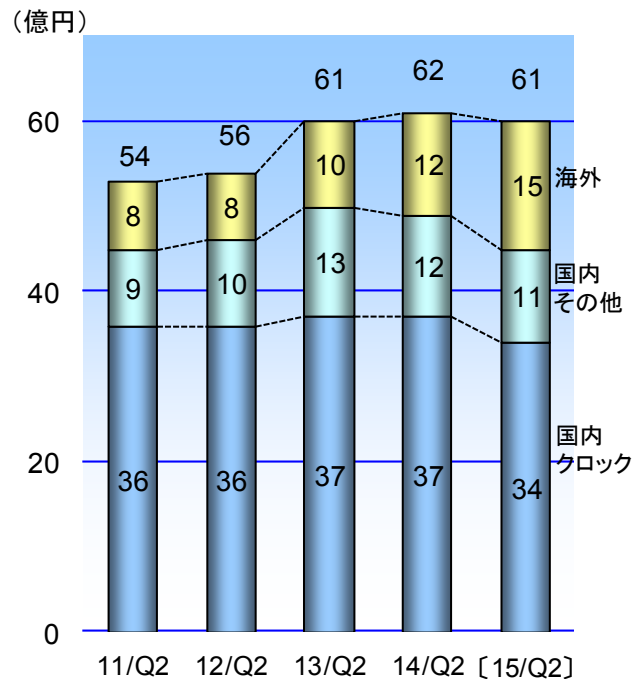


（百万円）

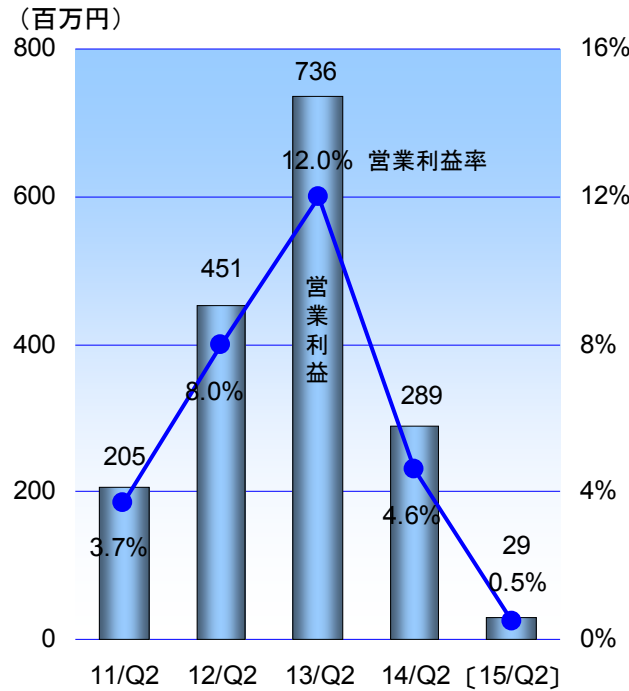
		11/Q2	12/Q2	13/Q2	14/Q2	[15/Q2]	前期比
営業利益	時計事業	205	451	736	289	29	▲260
	電子事業	165	12	175	▲195	138	+334
	プレジジョン事業	277	▲43	▲24	▲8	▲19	▲10
	接続端子事業	—	—	159	269	515	+246
	その他の事業	15	18	38	27	30	+3
	調整額	▲70	▲114	▲150	▲171	▲269	▲97
合計		594	324	934	210	424	+214

業績推移【時計事業】

売上高推移



営業利益・営業利益率推移



概況

国内のクロック分野におきましては、中級・普及価格帯製品販売を強化しているものの、消費税率引き上げに伴う影響が継続し、販売数量が減少しました。非クロック分野におきましては、USBファンは引き続き好調でしたが、防災行政ラジオ等の落ち込みをカバーするには至らず、国内販売は減収となりました。

利益の面におきましては、売上減少と円安による原価率の悪化により減益となりました。

海外販売は、リズムブランドウォッチの販売が好調に推移し、増収増益となりました。

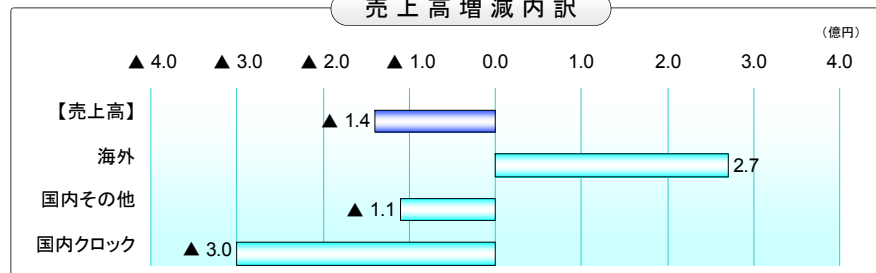
売上高： 61億37百万円

(前年同期比2.2%の減)

営業利益： 29百万円

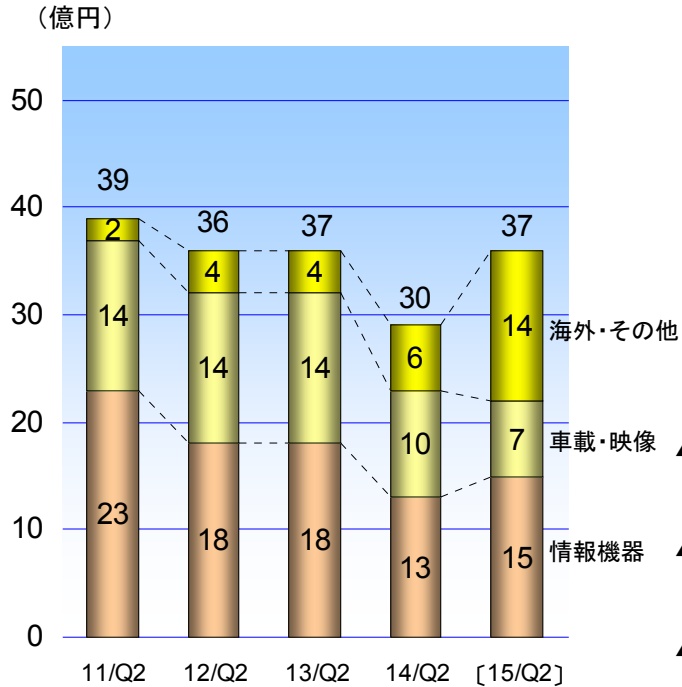
(前年同期比2億60百万円の減)

売上高増減内訳

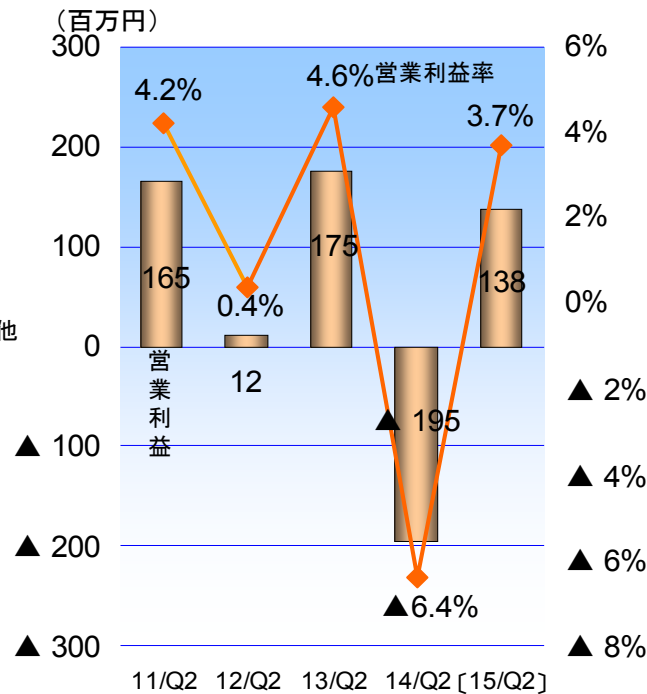


業績推移【電子事業】

売上高推移



営業利益・営業利益率推移



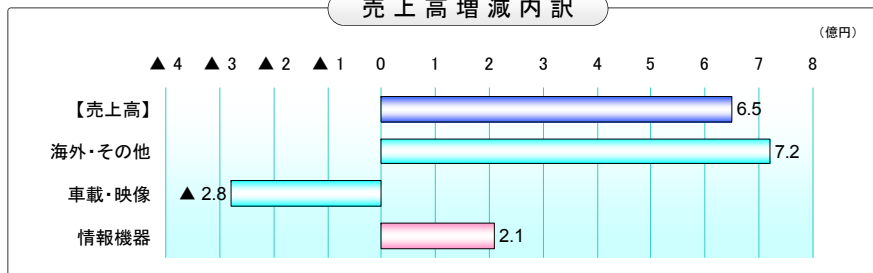
概況

車載・映像機器分野におきましては、国内では受注が減少しましたが、海外での受注が大幅に増加し、増収となりました。情報機器分野におきましては、消費税率引き上げ後の反動からの持ち直しから受注が増加した結果、増収となりました。

利益の面におきましては、国内操業度の上昇や国内外での原価低減により改善しました。

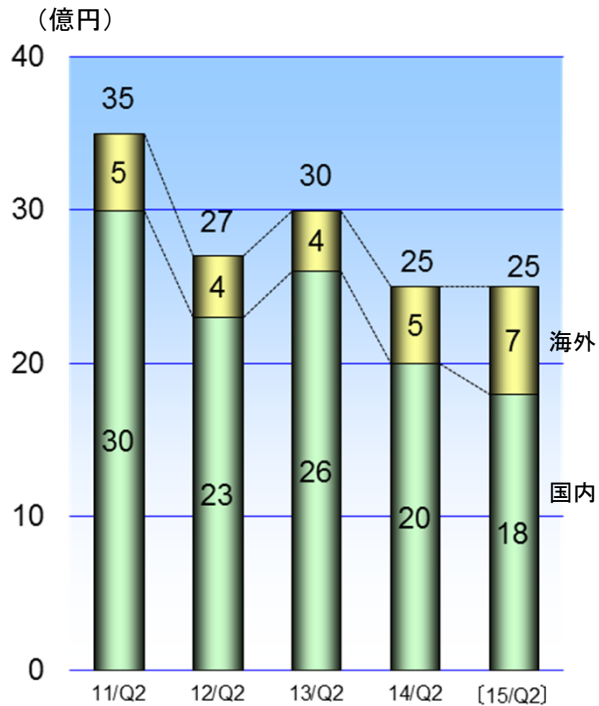
売上高： 37億11百万円
 (前年同期比21.2%増)
 営業利益： 1億38百万円
 (前年同期3億34百万円の増)

売上高増減内訳

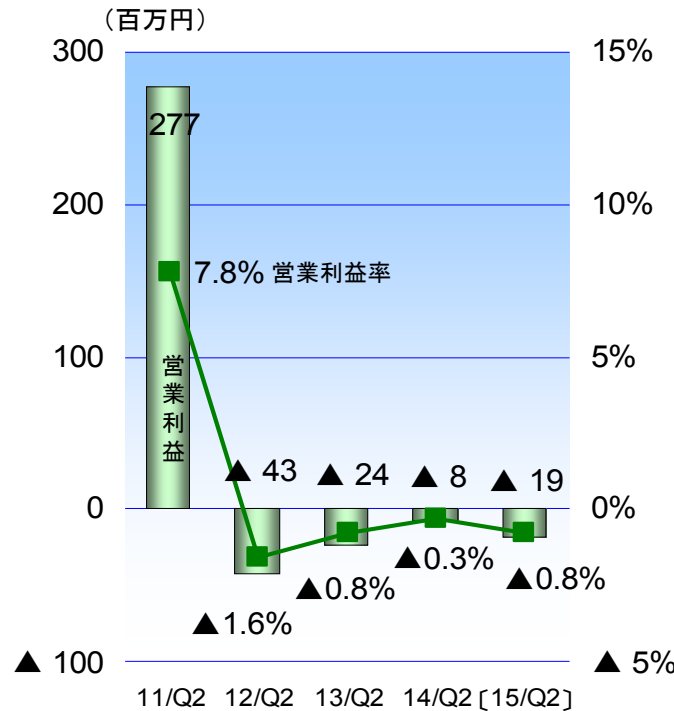


業績推移【プレジジョン事業】

売上高推移



営業利益・営業利益率推移



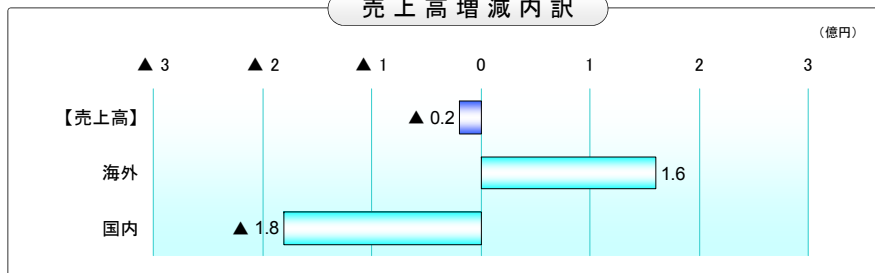
売上高

金型・プラスチック成型・金属加工技術の高度化や、新領域であるデジタルカメラ以外の光学部品、自動車、事務機器向け部品の受注拡大に取り組んでおりますが、国内は海外生産シフトやデジタルカメラ部品売上の減少で減収となりました。海外では増収となり、全体としては小幅の減収にとどまりました。

利益の面におきましては、固定費の圧縮に努めていますが、売上高の減少や主に海外での原価率の悪化により減益となりました。

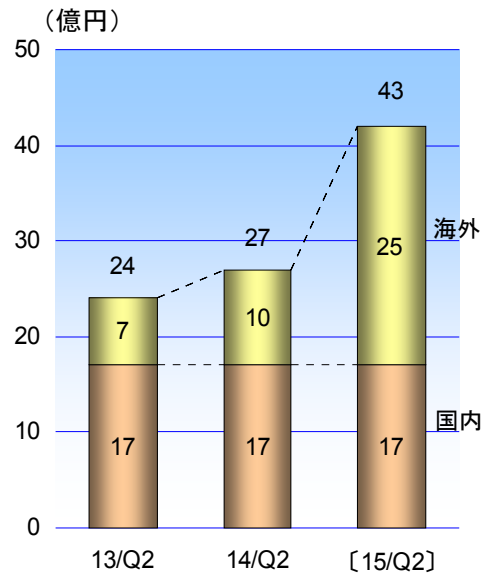
売上高： 25億40百万円
 (前年同期比0.6%の減)
 営業利益： ▲19百万円
 (前年同期比10百万円の減)

売上高増減内訳

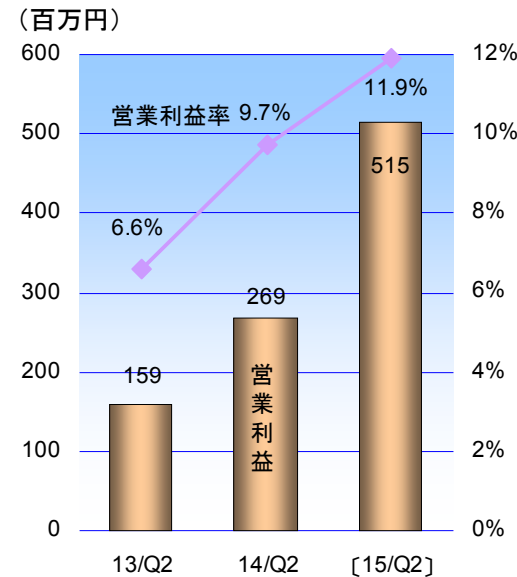


業績推移【接続端子事業】

売上高推移



営業利益・営業利益率推移



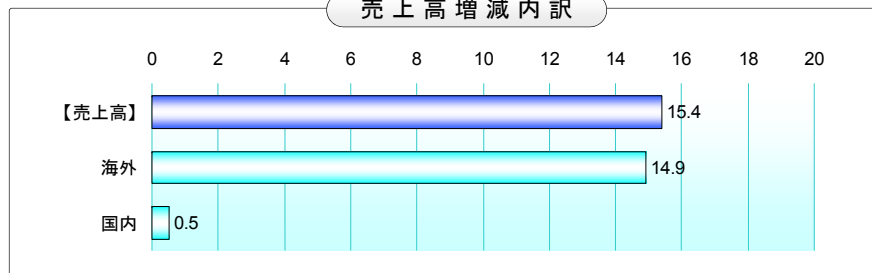
概況

国内では太陽光発電、電動アシスト自転車、家電関連分野等での受注が堅調に推移したことから増収増益となりました。

海外では、二輪向け部品がやや低調ながら、自動車関連の受注が堅調に推移し、PT. RHYTHM KYOSHIN INDONESIAの業績が寄与したことから増収増益となりました。

売上高： 43億32百万円
 (前年同期比55.6%増)
 営業利益： 5億15百万円
 (前年同期比2億46百万円増)

売上高増減内訳



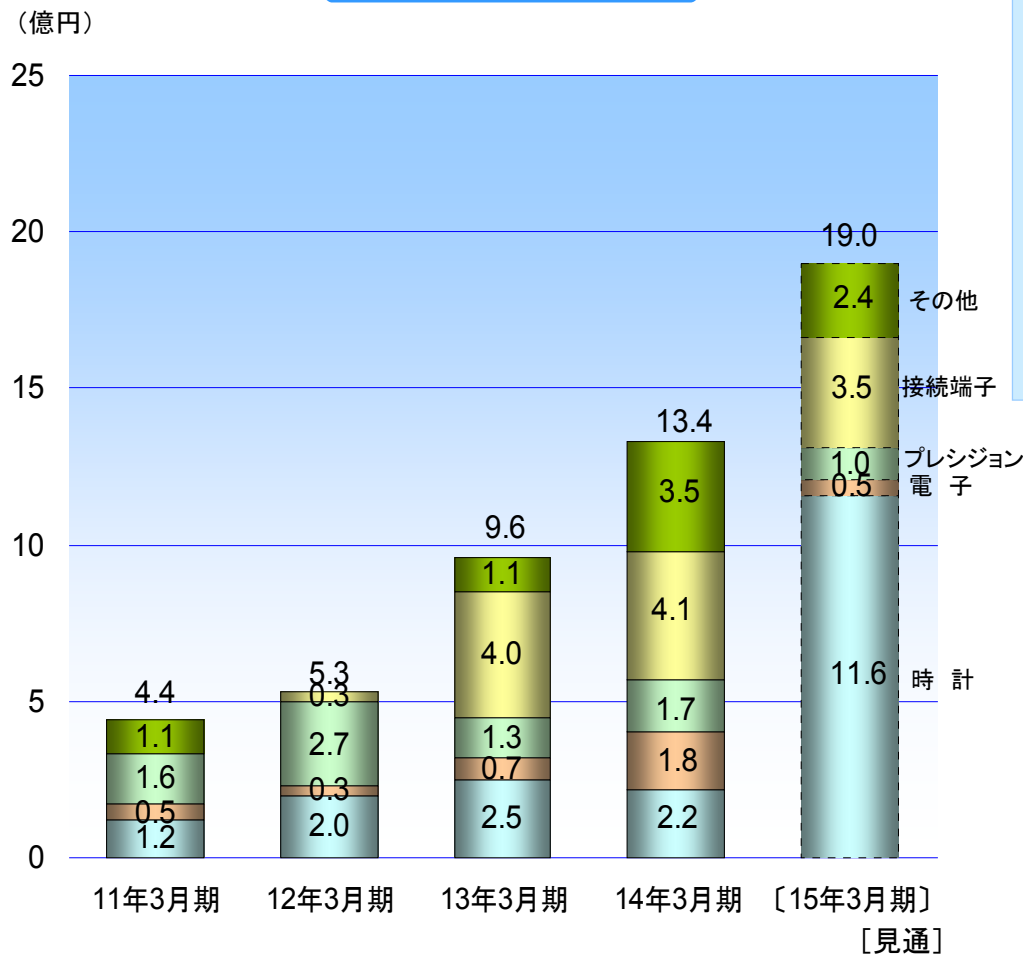
貸借対照表

(百万円)

	13年9月末	14年3月末	14年9月末	14年3月末増減	主な増減要因
流動資産	26,068	26,078	25,031	▲ 1,046	
現金及び預金	8,020	6,902	6,796	▲ 106	
受取手形及び売掛金	7,429	8,976	8,143	▲ 833	
有価証券	2,000	2,000	900	▲ 1,100	
たな卸資産	7,415	7,586	8,565	+979	
その他	1,204	614	627	+13	
固定資産	18,895	19,603	20,227	+623	
有形固定資産	7,528	7,585	7,864	+278	
無形固定資産	4,153	4,112	3,831	▲ 280	
のれん	2,753	2,689	2,480	▲ 209	
その他	1,399	1,422	1,351	▲ 70	
投資有価証券	5,585	6,214	6,604	+389	
その他	1,629	1,692	1,928	+236	
資産合計	44,964	45,681	45,258	▲ 422	
流動負債	8,222	7,563	6,781	▲ 782	
支払手形及び買掛金	4,213	5,046	4,435	▲ 610	
短期借入金及び1年以内返済長期借入金	1,182	702	709	+7	
その他	2,827	1,815	1,637	▲ 178	
固定負債	3,892	4,115	3,877	▲ 238	
長期借入金	2,300	2,000	1,700	▲ 300	
その他	1,592	2,115	2,177	+61	
純資産	32,849	34,002	34,600	+598	
資本金	12,372	12,372	12,372	0	
資本剰余金	15,951	15,951	13,681	▲ 2,269	— 自己株式消却 2,269
利益剰余金	4,998	5,553	5,749	+196	
自己株式	▲ 2,504	▲ 2,506	▲ 239	+2,267	
その他有価証券評価差額金	1,538	1,910	2,198	+288	
為替換算調整勘定及びその他	494	722	839	+117	
負債・純資産合計	44,964	45,681	45,258	▲ 422	
自己資本比率	73.1%	74.4%	76.4%	+2.0%	
1株当たり純資産	284.09	294.11	299.31	+5.20	

設備投資・減価償却費

設備投資

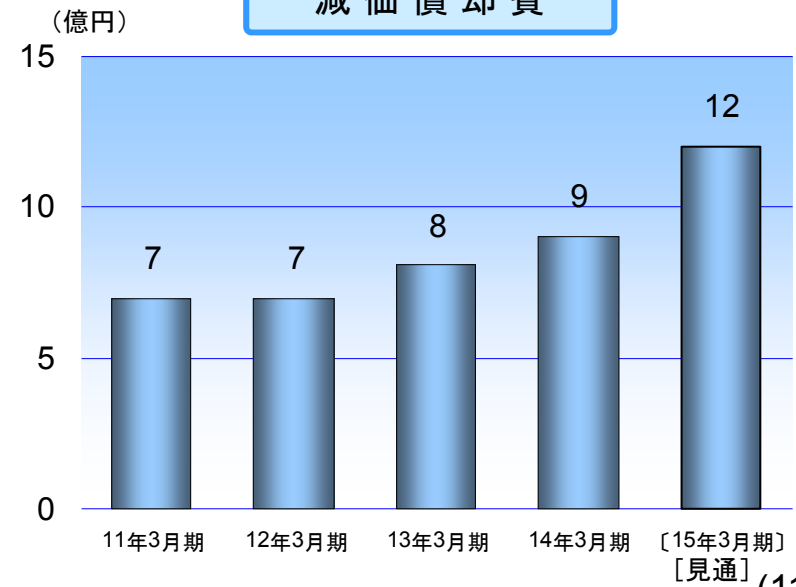


設備投資(通期)見通

(億円)

[時計]	11.6	ベトナム新工場、金型、機械装置等
[電子]	0.5	機械装置等
[プレシジョン]	1.0	成形機等
[接続端子]	3.5	金型、機械装置
[その他]	2.4	新倉庫建設等(物流子会社)
合計	19.0	

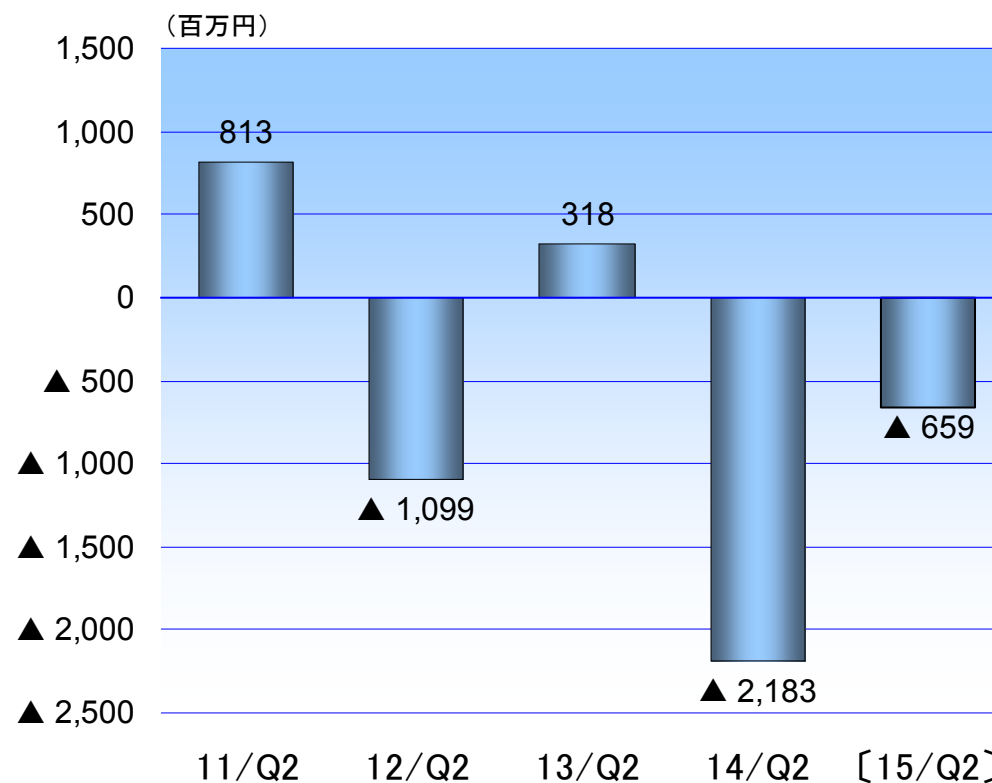
減価償却費



フリーキャッシュフロー

(第2四半期連結累計期間)

主な内訳 ◇は収入、◆は支出	
【営業活動によるキャッシュフロー】	
◇ 税金等調整前当期純利益	630
◇ 減価償却費	588
◇ のれん償却額	155
◇ 売上債権の減少	915
◆ たな卸資産の増加	▲989
◆ 仕入債務の減少	▲723
◆ 法人税等の支払額	▲337
【投資活動によるキャッシュフロー】	
◆ 有形固定資産の取得	▲789
◆ 無形固定資産の取得	▲315
【財務活動によるキャッシュフロー】	
◆ 長期借入金の返済	▲300
◆ 配当金の支払額	▲346



営業活動によるキャッシュフロー	1,331	1,010	488	749	376
投資活動によるキャッシュフロー	▲518	▲2,110	▲170	▲2,932	▲1,035
フリーキャッシュフロー	813	▲1,099	318	▲2,183	▲659
財務活動によるキャッシュフロー	▲788	1,257	▲2,516	2,542	▲649
現金及び同等物の期末残高	9,499	10,274	8,044	9,615	7,246

トピックス

RHYTHMブランド新製品発表会2014開催

- 9月18日、東京丸の内のパレスホテル東京において「RHYTHMブランド新製品発表会」を開催し、全国大手販売店様の代表者の方々をはじめ約130社、200名以上のお客様にご来場いただきました。
- 出品製品はクロック350モデル、国内初お目見えのリズムウォッチ250モデルを展示しました
- ブランドロゴもリニューアルしました。



RHYTHM

ベトナムでの展示商談会に参加

- 10月9日～11日、ベトナム国ホーチミン市において、ジェトロ及びホーチミン市貿易促進センター主催の「部品展示商談会」が開催され、電子・プレシジョン・接続端子の3事業が合同で出展しました。



上海での商談会に参加

- 9月3日～4日、中国の上海世貿商城(上海マート)にて、日中両国の製造業マッチングを行うファクトリーネットワークチャイナ(FNA)が主催する「FBC2014上海(日中ものづくり商談会)」に電子・プレシジョン・接続端子の3事業が合同で出展しました。
- 出展企業数は550社、593ブース。来場社数は5,300社、来場者数は8,800人と過去最大規模となり、活発な商談を行いました。



子ども霞ヶ関見学デー

- 8月6日～7日、「平成26年子ども霞ヶ関見学デー」が東京霞ヶ関の経済産業省本館で行われ、「子どもたちに時の大切さやものづくりの楽しみを体験してもらう」イベントを開催しました。

